

## 平成 30 年度 第 2 回海洋科学高校協議会 キャリア教育部会 議事録

- 1 日時 平成 30 年 8 月 2 日 (木) 16:10~17:00
  - 2 場所 ガイダンスルーム
  - 3 出席者 松村委員、山田委員、篠田委員、高木総括教諭、渡邊総括教諭、里崎教諭
  - 4 司会 高木総括教諭
  - 5 記録 里崎教諭
  - 6 協議 前回協議内容と進捗状況確認、今後の取り組み
- (1) インターンシップ参加状況について
    - ・専門系列インターンシップに 13 名、横三地区インターンシップに 15 名、合計 30 名程度の参加があった。
    - ・漁船や「崎陽軒」などの有名企業に応募が偏る。
    - ・募集があっても教員の付き添いが適切だが船側に教員の乗船までは余裕がなかったり、札幌で乗船し大阪で下船するようなスケジュールのため交通費の問題もあったりして生徒の要望に合わないものもあった。
    - ・インターンシップ先との連携は教員と企業との信頼関係が大きく、教員の関心度合いが生徒の参加意識向上につながると感じられる。
  - (2) 前年度就職先表記について
    - ・(専攻科の就職が「機関員」「甲板員」だが、士官ではないのか。専攻科を出ているのに本科と同じでは、知識のある人がみればおかしいと思われる。
    - 「機関員」「甲板員」として採用され、経験を積んだうえで昇格しているためそのような表記になってしまう。分かりやすい表記や追記が必要だと思うので改善したい。
  - (3) デュアルシステムについて
    - ・デュアルシステムで訪問先企業から就職を薦められた生徒がいる。成功例として今後も数を増やしていきたい。そのためには地元企業の協力が必要。今後もご協力を賜りたい。
  - (4) その他
    - ・中国、東南アジアなどの海外視察を行ってはどうか。外国との流通、輸出量の拡大も含めて湘南丸をつかった教員・生徒の海外派遣はどうか。
    - ・缶詰生産の再興を。地元はまだまだ缶詰を作る学校だと思っている。